

《結果の抜粋と掲載ページ》

■ 調査概要	2ページ
■ 水への関心	
◇ 高関心層は全体の3割弱 最も多いのは20代、次いで30代	…トピック【1】 3ページ
◇ 水を“より大切だと思っている層”は、全体の8割超	3ページ
◇ 3人に2人が、水に“よりありがたさを感じている”	4ページ
◇ 水に関するインフラ老朽化への関心が若干高まる	4ページ
■ 節水の意識と行動	
◇ 節水を意識している人、行動している人、いずれも増加	5ページ
◇ 日常生活で実践していることは取り組み率がやや減少	5ページ
◇ 節水理由は社会的な大義から、よりパーソナルな方向にシフト？…トピック【2】	6ページ
◇ 水への関心とは関係なく無意識に節水できている？	6ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki's View～① 節水行動は増えているのか？	7ページ
■ 水道水に関する意識	
◇ 水道水の評価、全体の平均点7.47点 大阪圏が7.57点で昨年に続きエリア別トップ	8ページ
◇ 飲用としての水道水評価、全体の平均点が2015年以来の7点台…トピック【3】	8ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki's View～② 水道水への評価	9ページ
◇ 水道水への不満は半数近くが「不満なし」 「味」や「品質」への不満に地域差あり	9ページ
■ 「ペットボトル入りの水」に関する意識	
◇ 飲む頻度は月1回未満の“ほとんど飲まない人”が過半数	10ページ
◇ 市販のペットボトル入りの水のイメージはポジティブな項目が上位を占めるも数値は減少	10ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki's View～③ ペットボトル水の評価	11ページ
◇ 飲む頻度の増減意向は4人に1人以上が“増えると思っている”	11ページ
■ 水と生活・文化	
◇ 知っている祝日・記念日、水に関する記念日の認知上がらず	12ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki's View～④ 水の日認知度	12ページ

【調査概要】

第31回（令和七年度）「水にかかわる生活意識調査」

- ◆ 調査対象数 : 1,500人
- ◆ 調査対象者 : 東京圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、大阪圏(大阪、兵庫、京都)、中京圏(愛知、三重、岐阜)に居住する20代～60代の男女
- ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ◆ 調査期間 : 2025年5月28日(水)～6月3日(火)
- ◆ 回収数(人) :

	東京圏		大阪圏		中京圏		合 計		小計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
30代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
40代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
50代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
60代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
合 計	250	250	250	250	250	250	750	750	1,500
	500		500		500				